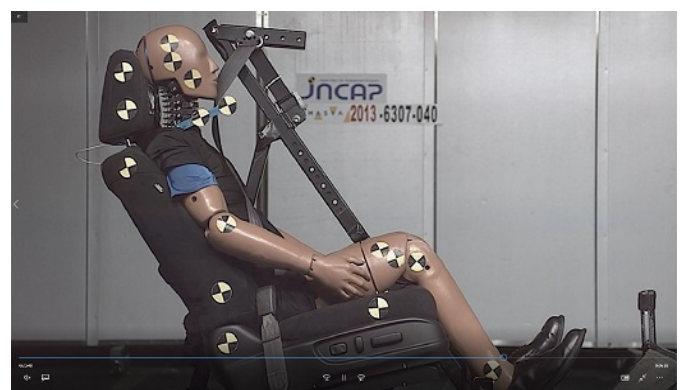
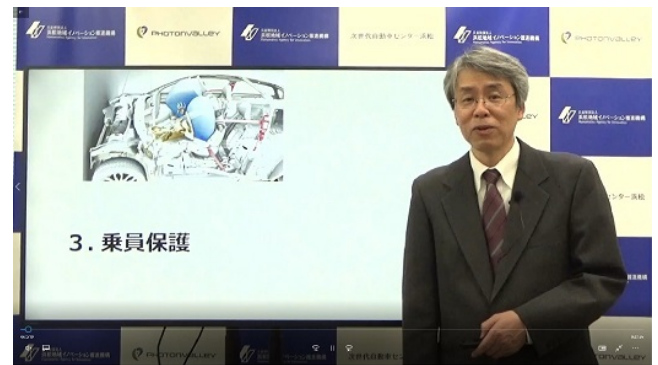
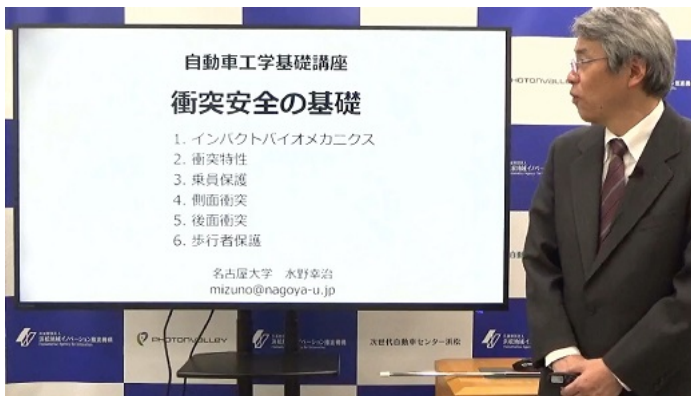


■ 第3回自動車工学基礎講座「衝突安全の基礎」 (Webセミナー) (会員限定)

次世代自動車センターでは、昨年度に引き続き、部品製造の中小企業における中堅社員を対象として、全4回の「自動車工学基礎講座」を企画しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、全てWebセミナー形式での開催とし、その第3回目として「衝突安全の基礎」をテーマに名古屋大学大学院工学研究科教授水野幸治氏を講師に迎え、Webセミナーを実施しました。

- 日時： 令和3年1月14日 (木) 13時30分～14時50分
- 場所： web形式
- 参加者： 21社/32名



【参加者の声】

- 衝突について、各評価の考え方、理論など参考になった。力学的な裏付けが深くなされていることがわかり、大変勉強になった。
- 自動車を製造するにあたり、安全性について多方面から考慮している点について基本的な部分を知ることができた。
- 車両本体の設計開発に関し、どのように設計していくのか、理解を深めることができた。
- 安全性能に関わる部分について、人体の受傷部位の分析からダミーによる検証など、大変興味深い内容だった。
- 今回の講義の説明、資料の数式やGS線図から、なぜ軽自動車が小型車などに比べ、乗員保護にとって不利なのか、より理解を深めることができた。
- 車体構造についての講演や実験映像等で、事故時の人体の挙動を知ることができ、大変参考になった。また、グラフや図を多用してあるため、説明が視覚的に分かりやすく、理解を深めることができた。
- シートベルトについての役割と挙動、車両骨格部品の役割等が参考になった。
- 傷害メカニズムの弾性、粘性、慣性という単語は知っていても、粘性は衝撃力が伝わったことで生じる引張りなどで傷害が発生するといった真因まで理解していなかったもので、説明を受けて、よく理解できた。
- 衝突安全の設計について各ケースに基づいて、設計されていることが分かった。車体もそうだが、内装品（シートベルト等）も重要であり、必ず避けて通れないので、この部位での製品を考えなければならないと感じた。
- 自動車に関わる技術者であれば理解できる基礎的な力学をベースとし、衝突安全性能を意識すべき理由であるインパクトバイオメカニクスの基礎から、具体的な性能開発への取り組み方法まで体系的に説明していただき、わかりやすく、かつ興味をひく内容と感じました。
- 段階的に衝突の荷重や変形量を知ることができ参考になった。